

令和6年度第2回倉敷市公民館等運営審議会における御意見の主なもの

1. 事業の基本方針について

- ・水島地域の公民館や図書館、児童館の機能を一つに集め、新たな交流・活動の拠点となる施設が誕生することをうれしく思う。これまで以上に多様な世代が「集い、学び、つながる」場所として、地域に愛される施設になって欲しい。
- ・地域交流機能について、「ふらっと立ち寄れる」ような、使用目的を限定しないで利用できるスペースができることは、市民の様々なニーズ（潜在的なものも含めて）に応えることができる。そのためにもフリーWi-Fiの整備が必要だと考える。
- ・災害時の一時避難場所として利用できることは良い。また、児童館機能もあるので、乳幼児の避難所として利用できたら良いと思う。

2. 公民館機能について

- ・調理室や工作室等の特別室は、各1つ必要だが、複合化することで、会議・講演会などに使用する貸室は複数必要と考える。
- ・デザインも大事だが、機能性・耐久性を重視してほしい。
- ・ホールが400席程度ということで、演奏会や演劇、文化活動の発表の場として、使いやすい建物(規模)だと思う。利用できることを楽しみにしている。
- ・Wi-Fi整備をすると聞いている。利用者の利便性はもちろん、イベント主催者が利用する時に快適に使えるような整備（有線LANの差込口を演台の近くに等）もお願いしたい。
- ・中高生が集う施設づくりをお願いしたい。（例えばeスポーツ活動など）
- ・「ディスカッションルーム」とはどんな部屋？会議室との違いがわかりにくい。
- ・複合施設として、様々な関係機関との連携により、地域住民の学びのニーズに対応した催し物(講座やイベント)が増えることを期待している。

3. その他

- ・全てにジェンダーの視点、男女にとらわれない視点を取り入れてほしい。
- ・社会的弱者、特に高齢者、障がい者、外国人も気軽に利用できるよう洋式トイレ、バリアフリー、ユニバーサルデザイン等十分配慮してほしい。
- ・玉島市民交流センター同様にホールには車いす席などが必要。
- ・水島地域中心部にさまざまな施設が集約されており、住民にとってはありがたい施設になると思う。唯一、駐車場の拡張化を希望する。
- ・児童館の図書コーナーと図書館の図書スペースが重複するのではないか。
- ・水島地域の公共交通網について考えるべき。車、自転車に乗れなくなると“つながり”は限られてしまうので、気軽に参加できる交通手段を官民で考えていくべきだと思う。